

## 泌尿器科

### (1)2年間の初期研修で到達可能なレベル

泌尿器科一般の診療・検査・手術の見学・助手等が可能です。腫瘍をはじめ、結石、前立腺肥大症・排尿障害、尿路感染症などの診療を行います。必修項目である症状のうち血尿・排尿障害・急性腎不全・(尿路)感染症に対する対応等についても指導を行います。当科での3ヶ月以上の研修を選択された場合、膀胱鏡操作、膀胱鏡下での検査・処置、経尿道的尿路結石除去術、経尿道的膀胱腫瘍切除術などが指導医のもとに執刀に準じた形で経験可能です。

### (2)後期専攻医(専門医研修)へのつながり

泌尿器科は京都府立医科大学泌尿器科の専門医研修プログラム協力病院のひとつとなっています。泌尿器科への専攻を希望される場合には、京都府立医科大学附属病院での研修を12ヶ月履修した上で、引き続き協力病院での研修を行うこととなります(京都府立医科大学専門医研修コースのHPを参照)。当院は引き続きの研修を行う協力病院のひとつとなっています。